

業務災害(通勤災害を除く)

報告書記載上の要領

1欄「事故の有無」は、令和5年度中に貴社で業務災害が発生したかを問うものです。

・無事故の加盟員は提出不要です。

・事故が発生した加盟員は「有」を○で囲み、令和5年度中に貴社で発生した業務災害の「総件数」と「総被災者数」を記載し、各被災者について報告書を作成下さい。

2欄「会社」は、都道府県協会届出社名をご記入下さい。なお、「会員番号」とは、各都道府県協会における会員番号のことです。

A) 警備業専業業者か、兼業業者かを○で囲み、兼業業者は警備業以外の主たる業務を記入して下さい。

B) 「労働(労災)保険番号」を正しく記入して下さい。

C) 「各種区分欄の業種番号」は、貴社が加入している「業種番号」を記入して下さい。その番号は、毎年労働基準局より送付される各社の「労働保険概算・確定保険料申告書」の中の「各種区分の業種欄」に記載されています。(例 警備業 9602 ビルメン業 9301)

D) 「資本金」は、令和6年3月末現在で該当するものを○で囲んで下さい。

E) 「警備員数」は、令和6年3月末現在で記入して下さい。臨時警備員も含みます。

F) 「主たる業務」は、該当するものを○で囲んで下さい(複数回答可)。

3欄「被災者」の「年齢」、「職種」、「勤続年数」、「検定資格」は、必ず事故時のものをご記入下さい。

「職種」は、A)警備員、B)その他 のいずれかに○を付け、警備員の場合は、「常用」と「臨時」の区別を明確にして下さい。

「検定資格」は、事故時の業務に係る種別の検定資格の「有・無」を明確にし、「有」の場合は該当するものを○で囲んで下さい。

4欄「事故発生年月日」の「午前・午後」は、いずれかを○で囲んで下さい。

「天候」は、該当するものをひとつ○で囲んで下さい。なお、複数該当するものがある場合には、特にその天候が、直接事故の原因となったと思われるものに○を付けて下さい。

5欄「事故発生場所」は、県名、市(郡)まで記入。「屋内」「屋外」の別を明確にし、該当するものを○で囲んで下さい。

6欄「事故の程度」は、該当するものをひとつ○で囲み、「休業日数等」(令和6年3月末日までの日数)を明確にご記入下さい。

なお、B)とC)は、身体障害等級をご記入下さい。

7欄「主な傷病名等」の A)「傷病名」は、主な傷病名をご記入下さい。

B)「被災者の復帰」は「有・無」を明確にし、該当するものを○で囲んで下さい。

8欄「事故発生時の業務」は、事故発生時に従事していた業務種別をひとつ○で囲んで下さい。

(参考 1号=施設・巡回・保安警備業務等 2号=交通誘導・雑踏警備業務等 3号=貴重品運搬警備業務等 4号=身辺警備業務等)

9欄「被災時の業務内容」は、該当するものをひとつ○で囲んで下さい。

10欄「被災時の乗り物」は、被災時に被災者が使用していた乗り物等をひとつ○で囲んで下さい。

11欄「事故の原因」は、該当するものをひとつ○で囲み、()に具体的な物や、場所、理由等をご記入下さい。

L) 「交通事故」に該当する場合には、a)~i)のうち該当する「事故の相手」をひとつ○で囲んで下さい。

M) 「プロパー事故」は、警備業務特有の事故で、万引犯等犯人、暴漢等第三者、動物等によるものを言います。

M) 「プロパー事故」に該当する場合には、a)~e)のうち該当するものをひとつ○で囲み、()に具体的な物や、場所、理由等をご記入下さい。

12欄「その事故について」は、当該事故の A)「交通事故」または B)「交通事故以外」の別に従い「責任」の所在をご記入下さい。

13欄「事故の概要」は、①~⑤が明確になるように具体的にご記入下さい。特に、「死亡」「永久全労働不能」「永久一部労働不能」と、「交通誘導中」の事故は、現場の状況を図面にしてお説明下さい。

14欄「被災者数」は、当該事故において複数の被災者が出た場合にご記入下さい。

15欄「保険負担機関」は、当該事故の保険金、医療費、補償等を負担した機関を○で囲み、その負担割合をご記入下さい。